

「子宮頸がん検診における HPV 検査の有用性」の研究へのご協力のお願い

佐賀県健診・検査センターと佐賀大学医学部附属病院は、ともに子宮頸がんにおける HPV（ヒトパピローマウイルス）併用検診に関する研究を実施しております。つきましては、研究に際し、下記の情報等を研究に使用させていただきます。本研究は個人を識別できないよう処理を行った情報を使用するため、氏名や住所、勤務先等の個人の特定につながる情報が使用されることはありません。ご確認いただきご協力をお願いいたします。なお、本研究への参加を拒否される場合は、お手数ですが佐賀県健診・検査センター受付もしくはお問い合わせ先までご連絡ください。本研究への参加について、拒否されても何ら不利益を被ることはありません。

1. 本研究の対象者

2011年4月1日～2022年3月31日に佐賀県健診・検査センターで子宮頸がん検診の結果判定を受けた方のうち以下の条件を満たす方

- ① HPV 検査を併用して受けられた方
- ② 精密検査を受けられた方で、その結果が判明している方

2. 研究の目的、研究期間

目的：子宮頸がん検診において HPV 検査の有用性が明らかになりつつありますが、日本では未だ全国導入に至っていません。佐賀市では 2011 年以降、子宮頸がん検診にオプションとして導入し、良好な結果を得ています。今回、子宮頸がん検診における HPV 検査の有用性について約 10 年の結果を再検討することを予定しております。

研究期間：研究実施許可日 ～ 2023 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、HPV 検査の結果、細胞診の結果、精密検査受診の有無、組織診の結果

※本研究は個人を識別できないよう処理を行った情報を使用するため、氏名や住所、勤務先等の個人の特定につながる情報が使用されることはありません。佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

4. 外部への情報の提供

佐賀大学医学部附属病院から外部の機関へ情報の提供は行いませんが、佐賀県健康づくり財団より郵送により佐賀大学医学部附属病院への情報の提供を受け、研究の解析を行います。情報の管理については佐賀大学医学部附属病院の研究責任者が管理します。

[試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名]

公益財団法人佐賀県健康づくり財団 理事長 松永 啓介

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

<連絡先>

住 所：佐賀市鍋島5丁目1-1

佐賀大学医学部附属病院 産科婦人科 横山正俊（担当）

電話番号：0952-31-6511（代表）

<研究組織>

研究代表者（研究責任者）：

佐賀大学医学部附属病院 産科婦人科 教授 横山正俊

共同研究参加施設：

佐賀県健康づくり財団 細胞検査士 北島恵理

このお知らせは研究実施許可日より2023年3月31日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページにも掲載されています。

佐賀大学医学部附属病院臨床研究センター <http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/chiken/>

なお、この研究内容は佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、研究機関の長の許可を受け実施されています。